

# 白岩（浦柄）の岩盤崩壊



自動車で行く途中の母子3人が生き埋めになり、奇跡的に男の子だけが助かった現場です。

左の上の写真は、地震発生後1ヶ月程度経過したころの状況です。また、左の下の写真は、復旧工事が行われた後の状況です

写真の山が岩盤すべりを起こし、被害を引き起こしました。復旧工事では、トンネル案、橋梁案などがありましたが、工事の期間や費用の点から最も良い現在のルートが採用されました。

この岩盤の滑った場所の地下には戦前の磨き砂の坑道跡がありました。ここが弱面になる可能性がありますので、復旧工事では、この坑道の充填工事が行わ

れました。そうして完成したのが現在の道路です。

当初、放置された道路の残骸は、復旧工事後も、メモリアルとして残そうという意見もあり、まだ放置されたままの状況です。写真の道路の残骸などはワイヤーなどで応急的に留めているのですが、あくまで暫定的な処置でしかありません。この道路のアスファルトなどは建設リサイクル法の対象物でもあり、放置は好ましいものではありません。今後の経緯を見守っていきたいものです。

